



南島原市国際交流員

フランチのプレフェリート♡南島原 「お風呂は気持ちいい！」

※「プレフェリート」とは、イタリア語で「おすすめ」という意味です。

日本人に「外国では湯船に入る習慣はないですか？」とよく聞かれるので、今月のコラムでは「イタリアと日本の入浴の文化」に関して色々説明しながらこの質問に答えたいと思います。

まず、日本人にとってお風呂とは、体を清潔に保つと同時に、疲れをとったり、リラックス効果を得たりする日常生活の習慣です。ところが、欧米では衛生面から体を洗うことはあっても、お風呂に癒し効果を求めることは少ないと思います。

また、日本では一人暮らし用のアパートでも、浴室にはバスタブとシャワーが完備されているのが一般的です。

それに対し欧米のアパートは、シャワーのみという部屋も多く、必然的にシャワーで済ますことになります。バスタブがあるバスルームでも、お湯をためて入るのは月に1回程度。しかも「洗い場」という概念がないため、バスタブの中で体や髪を洗い、最後にシャワーで洗い流すことがあります。

なぜイタリア人は日本人のように毎日湯船に浸かる習慣がないのかについて、歴史的な視点からヨーロッパ文化の変化について説明します。

古代ローマ人はテルマエと呼ばれた競技場、図書館、劇場が併設されている大きな公衆浴場に入る習慣があったそうです。当時は現在の日本でも見られるような、公衆浴場が楽しまれていたといわれています。



しかし、キリスト教の観念が加わり、また、14世紀にはペスト(感染症)の流行により、公衆浴場はもろろんのこと入浴自体も「ペスト菌を体に取り込んでしまう」といった間違った解釈がなされ廃れていきました。

18世紀には医学の進歩に伴い、ヨーロッパでは「入浴が病原菌を体に取り込む」といった解釈が否定され、むしろ健康の上で好ましいとみなされるようになりました。それからは、敬遠されていた入浴の習慣が積極的に行われるようになりましたが、温水に浸かる風呂ではなくシャワーとして温水を浴びる習慣が普及していきました。

以上のことから、歴史的に現在もイタリア人は日本人のように毎日お風呂に浸かる文化がありません。

しかし、私は日本に住み始めてから日本のお風呂文化の良さに気付かされたので、今は来日する外国人に湯船に浸かることを薦めています。

教えて!国民年金

～国民年金基金のご案内～



国民年金基金は、自営業者などの国民年金第1号被保険者の人が、より豊かな老後を過ごすことができるよう税の優遇を受けながら国民年金(老齢基礎年金)に上乗せして加入することで、厚生年金並みの年金を受けられる公的な年金です。

◆ 加入対象者 ◆

- 20歳～60歳未満の第1号被保険者
(国民年金保険料の未納者・免除者などを除く)
- 60歳～65歳未満で国民年金任意加入者

◆ 特 徴 ◆

- 基本は終身年金で老後が安心です。万が一の時はご遺族に一時金が支払われます。(一部の種別を除く)
- 掛金の全額が社会保険料控除の対象で、所得税・住民税が軽減されます。
- 掛けるのが苦しい時は一時停止(お休み)や、2口目以降を減口などができます。

*詳しくは、年金事務所または市役所 日本年金機構諫早年金事務所 ☎0957(25)1662
保険年金課(各支所)へお尋ねください。 南島原市 保険年金課 ☎050(3381)5039 または 各支所

島原半島ユネスコ世界ジオパーク
キャラクター「ジーオくん」

つなごう未来へ!
島原半島ユネスコ世界ジオパーク

ジオパークで あり続けるための取り組み

図 島原半島ジオパーク協議会 ☎0957(65)5540

島原半島ユネスコ世界ジオパーク
キャラクター「ジーナちゃん」

ジオサイト③ ～日本一長い足湯～「ほっとふっと105」



「ほっとふっと105」
休日にはたくさんの人がここを訪れます。

毎月、島原半島内のジオサイトやジオパークに関連の深い見どころを紹介するこのコーナー。

今回は雲仙市小浜町にある「ほっとふっと105」です。

雲仙市小浜町にある小浜温泉は、日本で最も数が多いナトリウム塩化物泉(旧泉名は食塩泉)に分類されるアルカリ性の温泉です。小浜温泉の特徴は、島原半島の他の地域では見ることができない、高い湯温と豊富な湯量です。小浜温泉は橘湾の地下約15kmにあるとされる雲仙火山のマグマだまりに近い場所にあることに加え、このマグマだまりからもたらされる高温の火山ガスが、雲仙の山から伏流する豊富な地下水や海水と混ざるために、高温の温泉が大量に湧き出します。

平成22年2月2日、この豊富な温泉を利用して、小浜マリnparkの一角に誕生したのが、105mという日本一の長さを誇る足湯「ほっとふっと105」です。

末尾の“105”という数字とその足湯の長さは、小浜温泉の源泉温度にちなんだものです。この足湯は浸かるだけでなく、足つばをマッサージしながら足湯の中を歩くことができる「ウォーキング足湯」や、ペットも温泉が楽しめる「ペット足湯」もあります。足を足湯で温めれば、血行が良くなるために代謝が促進され、むくみもとれ、冷え性も解消されます。また、温かい血液が体全体をめぐるようになるために、体全体がポカポカと温まり、眠りが深くなり、疲労回復の効果も期待できます。

冬の寒い日は、オレンジ色に染まる夕日を眺めながら、雲仙火山のマグマが温めた足湯を満喫し、疲れた体と心をリフレッシュしてみませんか?

今回は、島原市の浜の川湧水と「銀水」を紹介します。

※「ほっとふっと105」の利用時間は、午前10時～午後7時(4～10月)または午前10時～午後6時(11月～3月)で、利用料は無料。

第7回 島原半島 ユネスコ世界ジオパークセミナー

12月17日(土) 午後1時30分～3時30分

は西有家総合学習センターカマス

内題目…島原の伝統的飲食文化を活用したジオツアー構想

●講師…宮崎大学教育文化学部

図 島原半島ジオパーク協議会 ☎0957(65)5540

参加無料

「がまだすドーム入館料半額割引キャンペーン」

がまだすドーム 特別入場割引券(5割引)



有効期限: 平成28年12月25日～平成29年1月31日

当館インフォメーションにて入場券をご購入ください。他割引との併用はできません。
本券1枚で1団体様のご利用となります。精算後の払い戻しはできません。

*広報南島原 平成28年12月号 掲載分

島原半島在住・出身者限定

がまだすドームでは、普賢岳噴火災害を多くの人たちに再認識してもらいたいとの思いから、「入館料半額割引キャンペーン」を実施します。皆さんのご来場をお待ちしています。

	通常	特別料金(一般)
大人	1,000円	500円
中高生	700円	350円
小学生	500円	250円

生きている地球を体感! 大地の鼓動に触れるジオ・ミュージアム
がまだすドーム
〒855-0879 長崎県島原市平成町1-1 ☎0957(65)5555
http://www.udmh.or.jp 営業時間 9:00～18:00(最終入館 17:00)